（1）主題名　自由と自分勝手　〔小学校高１－（３)〕

（2）ねらい　自由の大切さを理解し，自他の自由を尊重するとともに，規律ある行動をしようとする態度を養う。

（3）資料名　「修学旅行の夜」（出典：明日をめざして６年　東京書籍）

資料の概要

修学旅行の宿で，夕食後,班のみんなから「消灯後も自由に思うようにしたい」という話が出た。ただし，決してさわいでいいということではなく，できるだけ静かに寝ようという約束をした上で……。しかし，消灯後，だんだんみんなの話し声が大きくなってしまう。注意してもきかないし，私自身も普段味わえない楽しさがあり，ついおしゃべりの仲間に入ってしまった。途中で先生に注意を受けたが，いい気になってまくら合戦になり大さわぎになる。隣の部屋の人が静かにするよう言いにきた後,先生に「自由と自分勝手の違いを考えなさい。」と言われてしまう。

（4）学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と児童の心の動き	留　意　点
導入	1　修学旅行で楽しみにしていることを発表する。	○みんなのアンケートの中で一番多かったのは何だと思いますか。 ・宿泊するホテルの夜 ・観光	○事前にアンケートをとっておき，児童が修学旅行で楽しみにしていることを把握しておく。
展開	2　資料「修学旅行の夜」を聞いて話し合う。 3　「心のノート」を聞いて考えを深める。	○どんなきまりがあったでしょうか。 ・できるだけ静かにねよう ○班のみんなや私は，どういう気持ちでさわぎ始めたのでしょう。 ・修学旅行なんだからいいじゃない ○隣の部屋の人はどんな気持ちで注意したのでしょう。 ・静かにしてほしい ・眠れない ・人の迷惑を考えてほしい ◎先生に注意された言葉「自由と自分勝手の違い」を考えてみましょう。 ・自由は人のことを考えながら自分のしたいことをする ・自分勝手は人のことを考えないで自分だけがよければよいと思っている ○自由にできたこと，自分勝手をしてしまったことを振り返りながら，「心のノート」を聞きましょう。 ・わたしの考える「自分に対する責任」とは・・・ ・私の自由は人に迷惑をかけるのではなく自分が考えたやりたいことをやることだ	○自分たちで決めた約束であることを確認する。 ○班長･副班長としての立場についても考えさせる。 ○自分たちの楽しみが他の人の迷惑になっていることに気付かせる。 ○何が自由で，何が自分勝手なのか，自分の言葉でワークシートにまとめさせる。 ○「心のノート」P18 から P21 を参考にする。
終末	5　教師の説話を聞く。	○先生の話を聞きましょう。 ・先生にもそんな体験があったんだ	○本当の自由とはどういうことか心に残るように話す。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

少子化でわがままになりがちな現在の児童に本当の自由とは何か知らせるよい機会である。自由とは責任を伴うもので，自分勝手とは違うことをこの資料を通して把握させたい。

修学旅行などの楽しみな行事の時，自分たちだけが楽しめば人に迷惑をかけてもよいのか，規律ある行動について考えさせられる資料である。

修学旅行や合宿などの前後のどちらでも扱うことができる。

２　指導過程の工夫

導入でアンケートしたものを取り入れると，興味をもって資料に入ることができるし，雰囲気づくりにもなった。

「ちょっとぐらいしゃべっても」という自分たちの楽しみについて共感させた。それが，人の迷惑になっていることに気付かせることで，自由とは何かを考えさせることができた。

「自由」と「自分勝手」の違いを児童の言葉で言わせ，両者を比較できるように板書の工夫をした。

「心のノート」を活用して，「自由」の意味を考えさせた。

３　発問の工夫

班のみんなの気持ちに共感する補助発問を続けてした。その後で，全く別の立場である隣の人の気持ちについて発問することは，相手の心情を考える上で効果的であった。

「自由」と「自分勝手」の違いについて考えさせる場面では，発表した児童の意見について聞いている児童も感想を言うように仕向けていった。

４　児童の反応

「班のみんなや私は，どういう気持ちでさわぎ始めたか」という発問に対して「みんなが遊んでいたので一緒に遊んでしまった。」などの正直な発言が多かった。

「自由と自分勝手」の違いでは，自由は「人に迷惑をかけずに自分の好きなことをすること」「みんなのことを考えながら楽しく過ごすこと」「しかられないこと」，自分勝手とは，「自己中心的に自分のことだけをすること」「人に迷惑をかけてしまうこと」「きまりをやぶって，自分のやりたいことだけをすること」などの意見があった。「心のノート」を読みながら，「自由」について何となくではあるが，意識することができた。

５　授業後のフォローアップ

全員が集まる児童朝会などの集合の仕方を意識させる。そして，遊びの中でも自分勝手にするのではなく，規律について考えさせる。

また，最高学年の自覚をもたせるように，他学年とのかかわりをもたせ，責任をもって行動したことに対して認めてやり，励ましていく。

（柿浦小学校）